

香取市社会教育施設等整備基本方針（案）

香取市教育委員会

1. はじめに

本市の社会教育施設及び文化施設など社会教育機能を有する施設（以下「社会教育施設等」という。）は、昭和40～50年代に整備された施設が多く、施設の老朽化や耐震強度等に対する対策が必要となっております。また、合併に伴い、効率的・効果的な施設運営を行うためにも、適正な施設の配置と整備が必要となっております。

市では、この問題に対処するため、香取市社会教育施設等整備検討委員会を設置し、社会教育施設等の今後の在り方について諮問しました。

その結果、本市における社会教育水準はこれを維持し、かつ、多様化、高度化するニーズに対応するため、各区に拠点となるべき施設を配置し、整備に際しては、区事務所等を有効に活用する等の方向性を示した答申（「香取市社会教育施設等の適正な配置と整備について」平成20年11月26日）がなされました。

この答申を踏まえ、教育委員会では、今後の社会教育施設等の整備について、次のとおり基本的な方針を定めます。

2. 社会教育施設等整備における基本理念

社会教育施設等は、社会教育・生涯学習はもとより、文化、芸術、環境、福祉、観光など様々な場で活躍する市民が、心豊かに、うるおいのある社会生活を送るための支援の場所として、育児を行う親たちの学びやふれあいの場所として、ボランティア活動のための支援の場所として利用されなければならないと考えます。

このような考え方を基に、社会教育施設等の整備を進めていくための基本理念を次のように掲げます。

市民が主役となって活動する施設

3. 社会教育施設等整備の基本方針

教育委員会では、基本理念の実現のために3つの基本方針を掲げ、効果的な施設整備を進めていきます。

施設整備の基本方針

- ①既存施設を活用した拠点施設の整備
- ②行政サービス体制の一本化と施設間ネットワークの整備
- ③市民活動の支援体制の整備

3. 基本方針の具体化策について

3つの基本方針を具体的に進めるための方策として、人口が集中する佐原を中心拠点に、小見川を副拠点とし、山田及び栗源を地区拠点として位置づけて施設整備を行います。既存公共施設の効率化を図ることは、適正な財政運営を行うためにも必須事項となります。

中心拠点である佐原は、規模、交通アクセス、駐車スペース等の諸条件がほぼ満たされ、コミュニティ施設が集約されている佐原コミュニティセンターを市の社会教育及び家庭教育の中核を担う施設とします。

中心拠点に求められるものとしては、高いレベルの行政サービスの提供です。これまでの教育及び学習水準を維持しながら、多様化、高度化する市民ニーズに対応するためには、全体的なスキルを上げることが必要です。そのためには、業務に精通した職員による効率的で質の高い行政サービスを提供します。また、地区拠点との連携を強化するために、情報・通信ネットワーク化は必須となります。

副拠点及び地区拠点は、区事務所周辺に行政サービス、教育・学習、市民活動等の諸機能を集約させ、総合的な施設運営の中でそれらの機能充実を図ります。

拠点施設整備計画

区	整備施設	機能	主要業務
佐原区	佐原コミュニティセンター	香取市のコミュニティセンター	社会教育・家庭教育
小見川区	(仮)小見川市民センター	香取市の市民センター	生涯学習・市民協働
山田区	山田公民館	地区コミュニティセンター	社会教育・家庭教育
栗源区	(仮)栗源市民センター	地区市民センター	生涯学習・市民協働

副拠点及び地区拠点に求められるものとしては、行政サービスの拡大化に伴い、職員の能力と資質の向上に努めるとともに、各種活動をサポートする体制の確立が求められます。そのためには、市民との協働によるまちづくりを推進することが、なにより重要なこととなります。

特に、副拠点である小見川には、生涯学習やボランティア活動の先駆的な土

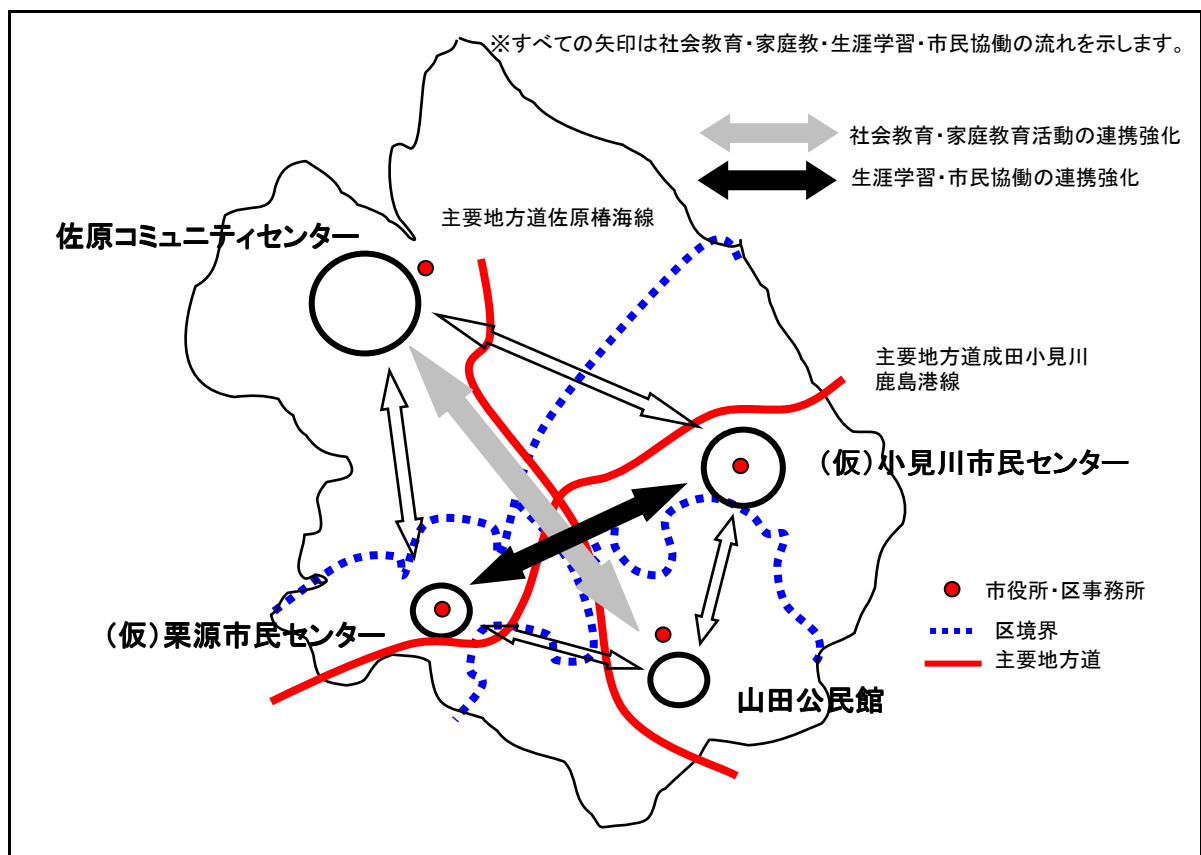
壤があり、公共の利益に資するための様々なまちづくり活動を育てる母体たるべき資質があります。このため、社会教育施設等の再整備に際し、全市的な市民活動を支援する、「市民協働センター」的な中核機能を併設します。また、栗源においても同様の機能を整備することによって、地区拠点における施設の活用を含めた、まちづくりの充実が図られます。

総括すると、市における社会教育・家庭教育を行う公民館活動は、佐原コミュニティセンターを中心として、多様化、高度化する市民ニーズに対応します。

小見川には、区事務所を中心に必要な機能を新設し、市における生涯学習活動、市民活動を支援する複合施設として総合的に整備します。

新たな人的交流の促進を図るためには、公民館活動を中心に行う佐原コミュニティセンターを補完する地区センターとしての性格を山田公民館に持たせ、生涯学習・市民活動を中心に行う（仮）小見川市民センターを補完する地区センターとしての性格を（仮）栗源市民センターに持たせます。このことによって、各施設間を相互に補完する社会教育施設等ネットワークの中に、専門業務の連携を強固にする施設間交流を構築します。

香取市の社会教育施設等ネットワーク図



4. 社会教育施設等の配置

基本方針に基づいた施設整備を推進し、効果的・効率的な施設運営を行うため、拠点施設以外の施設については、平成27年度までに順次統廃合を行います。これにより、現在ある社会教育施設等を13施設から8施設とします。

また、再配置後の施設については、施設の改修及び耐震化を行います。

社会教育施設等の再配置計画

現行 13施設			再配置後 8施設	
1	佐原中央公民館	→	1	佐原中央公民館
2	佐原中央図書館		2	佐原中央図書館
3	佐原文化会館		3	佐原文化会館
4	市民体育館		4	市民体育館
5	佐原第一公民館	→	5	(仮)小見川市民センター
6	小見川文化会館		6	山田公民館
7	小見川プラザ		7	(仮)栗源市民センター
8	小見川図書館		8	伊能忠敬記念館
9	山田公民館			
10	栗源公民館			
11	ふるさとの家			
12	伊能忠敬記念館			
13	文化財保存館			

5. 社会教育施設等の整備スケジュール

施設整備のスケジュールについては、合併特例債適用期間（平成18年度～平成27年度）において、拠点施設の整備と統廃合の完了を目途とします。

地区における整備状況から優先順位を決定し、第1次整備としたものは、平成24年度までに整備完了を目指します。その他の施設については第2次整備として、平成27年度までに整備を完了します。

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
基本方針の策定 ・整備検討委員会 ・優先順位の決定 ・一部基本設計の着手		第1次整備 ・地元説明会 ・実施設計 ・工事			第2次整備 ・地元説明会 ・実施設計 ・工事 ・耐震化		

香取市社会教育施設等ゾーニング図（案）

